

# エステーリンク バリ取り機に新型 設置面積3分の1以下

精密板金加工やバリ取り機製造・販売のエステーリンク（本社）

新潟県燕市、齋藤隆範社長）は、主力のバリ取り機「メタルスライダ―」シリーズの新製品を発売する。コンパクトなサイズで設置面積は従来機の3分の1以下。小物ワーク専用の機種として顧客ニ



メタルスライダ―200

ズに定める。すでに受注を開始しており、製品の出荷開始は11月頃

てサイズを小型化。最大ワーク幅が200ミ、同高さ40ミと小物

を予定する。新たに発売する「メタルスライダ―200」は、従来機と比べ

一般的にバリ取り機は集塵機を付帯設備としてセットで導入する

ワークの研磨に特化させた。製品幅が1100ミと小型なため作業者が立ち位置を変えることがなく、ワーク投入と回収ができる。研磨可能な素材は鉄とステンレス。

が、新製品は集塵機能を内蔵する。集められた粉塵は本体下部のタ―ンクから捨てる事ができ、メンテナンス性に優れる。集塵機能の内蔵により従来機と比べて設備設置面積を大きく縮小した。

このほか、バリ取り以外にドロスやスパッタの除去など様々な加工に対応する研磨ツールを備える。「メタルスライダ―」シリーズでは、これまで最大ワーク幅1000ミと同6000ミの2機種をラインアップしていた。しかし、都市部の敷地面積が限られる工場などでは十分な設置スペースが確保できない工場も多い。「従来機のサイズでは導入が難しい」といったユーザーの要望に応える形で発売が実現した。

新製品について齋藤社長は、「これまで工場内のスペースの問題で導入できなかったお客様はもちろん、従来機種ではややオーバー

サイズに定めた。展示会PRを進めていく」と話す。

にも積極的に出展し、